



この度、笠原良一議員が、平成26年2月に開催された全国町村議会議長会定期総会において、熊本県町村議会議長会会長として1年以上在職し、議会の運営及び地域の振興発展に貢献した功績は顕著であるものとして表彰されました。

笠原議員は、旧竜北町議会において二期、現在、氷川町議会議員(三期)として務められ、平成15年5月から平成25年11月までの三期に渡り町議会

全国町村議会議長会表彰

「議会運営・地域振興貢献」

議長として町政に尽力されました。

【笠原議員の受賞の一言】
全国町村議会議長会より表彰をいただきまして身に余る光栄であります。私は、平成11年に旧竜北町議会議員として当選し、皆さまのお蔭をもちまして、現在、五期目となりました。

今後、初心を忘れることなく、住民の信頼に応えるよう、誠心誠意努めてまいります。



暮らしやすい “まちづくり” について

河口涼一 議員

議員 近年の自然環境の変化や高齢化により所有者、管理者等が山に入る回数が減り、本来、山林に生息する猪、鹿、猿、タヌキ等が里山里地に下り、耕作物を食い荒らし踏み倒すなどの被害が目立っているように思います。

平野部においても野鳥の被害による多大な被害が出ています。

そこで、①被害の実態 ②その対策③猟友会等、団体への助成など実施されているかおたずねします。

農業振興課長 氷川町において果樹・野菜を中心に発生し、平成24年度でイチゴ、キャベツ、ブロッコリー等328aで3,499万円、梨、みかん等の果樹類が303aの1,383万円、その他の作物を合わせて金額にして約5,030万円の被害が発生しています。対策としては、ネット棚、防虫ネット、テグス等の設置、町は、農家へ電気柵設置費用の3分の1補助や箱穴の設置、24年度からは、氷川猟友会

農作物の 鳥獣被害について

を中心とした鳥獣被害対策実施隊30名を作り、鹿1頭あたり8,000円、猪1頭あたり5,000円を予算化しました。又、鳥獣のすみかとなる放任果樹の除去対策に撤去費用の4分の3の補助をしています。

猟友会等団体への助成は行っていないですが、非常勤特別公務員として鳥獣被害対策実施隊員に年間報酬を1万7,000円、活動時の費用弁償を1日あたり900円支給しています。猟友会も高齢化などで活動に支障がでていきますので、八代市とも協議しながら支援



策を検討したい。

議員 地域ぐるみで取り組むということは理想であり、役場、農業団体、猟友会、県あたりの研究機関や、自動監視、遠隔操作で退治する方法を開発されている地元業者の方々と連携を深めていただきたい。

さらに、猟友会で捕獲された獲物・食肉については、シビエ・加工販売される考えはありますか。

農業振興課長 講習会を開催して被害防止に努めます。

シビエについては、処理施設を使ったり、個人で許可を取り販売する方法があります。今後検討します。

議員 シビエについては新たな資源となれば幸いです。

鳥獣被害ですが、特に里山では、高齢者が丁寧に作物を作ったり、自家製であったり、少しずつ出荷し年金と合わせて貴重な現金収入となっていると思われま

永田義昭議長が、平成26年2月に開催された熊本県町村議会議長会定期総会において、正副議長として7年以上在職し、地方自治の振興に貢献した功績は顕著であるものとして表彰されました。

永田議員は、旧宮原町議会において三期、現在、氷川町議会議員(三期目)として務められ、平成19年1月から平成25年11月までの二期に渡り町議会副議長を務め、現在は議長として町政に尽力されております。

熊本県町村議会議長会表彰



【永田議長の受賞の一言】
この度、熊本県町村議会議長会より表彰をいただきまして身に余る光栄であります。

私は、平成8年に旧宮原町議会議員として当選し、合併後も議員として住民の皆さまの幸せのため活動してまいりました。今後、「住民代表」の原点に立ち、住民代表としての期待に応え、町執行部とともに豊かで住みよいまちづくりに誠心誠意努力していく所存です。

空き家・空き地 対策について

観と環境保全、そして生産性を無くすことになりま

この被害が増大する

このことのないように状況を把握に努めていただきたいと思

議員 移住定住対策として空き家の対策をお考えのようだが、①管理台帳等で実態を把握しているか②防災・防犯上、危険性のある物件はないか③対策条例等、方策を講じられるのか、おたずねします。

総務課長 管理台帳はないが調査した情報を基に空き家台帳で把握しています。防災・防犯上は、危険性を感じる物件が数十軒あります。対策条例はありませんが、国会法案成立状況をみて整備をしていきたい。

議員 ここで言う空き家は管理を放置され、管理者がいない、又、その特定ができない物を指します。

何が問題かと言えば、不法投棄が始まったり、たまり場になり犯罪の温床になる、又、倒壊の危険があり通行に不安がある、管理台帳を整備され、建物がいつ建てられ、どういう設備があった、所有者、相続者がど

2008年の国の調査で全国に757万戸の空き家があり8軒に1軒空き家が存在することになります。さらなる高齢化により、近いうちに20%に届くだろうという見方もあります。

個人の私有財産ですので指導が難しいところもあるかもしれませんが、撤去費用や、固定資産税、建築基準法の関連など問題もありません。専門家も含めて積極的な議論が必要だろ

議会広報研修会

市町村自治会館において、平成25年11月21日に実施されました。

研修内容は、「議員ブレゼン力を磨こう」と題して熊本大学客員教授越地真一郎氏の講話がありました。

第2部として、各町村の議会だよりを基にク

二ツクがなされた。

広報紙作成中には、なかなか気づかない点を他町村の広報紙も含めて公表される中で学ぶことができました。

出席議員は、松田達之広報委員長、永田義昭議長、長尾憲二郎委員、江寄悟委員。

町村新議員研修会

平成26年2月13日に市町村自治会館において、町村の新議員に対して「議会の制度と運営について」と題して研修が行われた。

主に議員必携から定例会、臨時会、議案審査、議員発言について解説が行われました。

議員としての認識を高めるため熱心に学んできました。

参加議員 河口涼一、清田一敏、長尾憲二郎

